

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2025年9月12日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部法律学科
留学(渡航)した時の学年	2年生
帰国年月日	2025年9月1日
明治大学卒業予定年月	2028年3月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	カリフォルニア大学バークレー校(日本語名) University of California Berkeley(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/英語
留学期間	2025年5月～2025年8月
留学先大学で在籍した学年	2年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4月上旬～7月下旬 2 学期: 9月中旬～2月上旬	1 学期: 8月下旬～12月下旬 2 学期: 1月中旬～5月上旬 3 学期: 5月中旬～8月上旬 4 学期:
学生数	45882人
創立年	1868年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 () (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	7058.77	円	
宿舍費	6314, 00	円	
食費	135	20,140 円	
図書費		円	
学用品費	14	2,000 円	
携帯・インターネット費		円	
現地交通費		円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	30	円	
旅費(留学中)		400,000 円	
被服費	135	20,000 円	
医療費		円	
保険費		35,000 円	形態:
渡航旅費		142,600 円	
ビザ申請費	535	円	
雑費	335	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	14556.77 (=2,171,826 円)	577,600 円	
総計(A+B) ※円		2,749,426 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

事前にインターネットなどで危険な地域を調べ、あとは現地で友達に教えてもらった。夜は一人で出歩かないようにし、暗くなったらBARTなどは使わずUberなどを使うようにした。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

大学のWi-Fiは時々つながることがあった。自分はネット使い放題の契約を利用していたためネット回線に関して不自由はなかったが、SIMを買うときはギガ数など少し多めに買ってあと安心だと思う。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

家のクレジットカードを一枚持って行っていたので支払いはそれを使っていた。時々カードが使えないことがあったのでその際は別のカードを使い、親から自分の日本の口座に送金してもらっていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

化粧水は多めに持っていきましょう。アメリカには保湿バームやクリームなどがたくさん売っていますが、化粧水が全然売っていませんでした。また、アメリカにもDAISOがありますが100円ではなく300円以上するので、あらかじめ必要だと思うものは日本で買ってから行くことを勧めます。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

家のクレジットカードを使って支払った。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
10 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Leading People	
科目設置学部・研究科	Hass school of Business
履修期間	SessionA
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式 (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 150 分が 3 回
担当教授	Janet Brandy
授業内容	組織を行動科学的な視点から記述・分析する授業です。リーダーシップ、社会構造、コミュニケーションといったテーマを扱い、複雑な組織内での人間行動を考察しました。また、技術・環境・人間行動の相互作用についても検討し、複数の理論モデルを比較することで組織理解を深めました。
試験・課題等	中間・期末にテストがあり、期末にはグループでのプレゼンテーションがある。プレゼンテーションは授業で学習したことをもとに、実際の企業がどのように人々をまとめているか調査しました。
感想を自由記入	授業全体を通して学生が自由に発言する機会が多く用意されていました。もちろん使う言語は英語であるため最初は周りに唾然としていただけでした。しかし一つの質問に明確な答えがあるわけでもなく、皆の意見が尊重される環境であったのでだんだん積極的に話すことができるようになりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Project Management	
科目設置学部・研究科	Haas school of Business
履修期間	SessionA
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	Omar Romero-Hernandez, Sergio Romero Hernandez
授業内容	プロジェクトを計画・遂行するための知識とスキルを養うことを目的とした授業です。プロジェクトの定義、選択、WBS(作業分解構造)、リソース見積もり、ガントチャート、資源制約下でのスケジューリング、進捗管理、プロジェクトの終了手続きなど、実務に直結する手法を学びました。理論と実践の両面から、期限内かつ予算内でプロジェクトを成功に導く力を養成する内容でした。
試験・課題等	グループでのプレゼンと期末テストがあった。
感想を自由記入	授業の内容も周りの生徒のレベルもとにかく高く毎回必死に付いていていましたが、教授もクラスメイトも献身的な人ばかりだったのでとても楽しく学ぶことができました。履修した授業のなかで一番難しかったけれど一番やりがいがあった楽しい授業でした。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
English Language Studies: Broadway Musicals	ブロードウェイミュージカル
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	SessionD
単位数	3
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が2回
担当教授	David Frasca
授業内容	この授業では、ブロードウェイ・ミュージカルを教材として、語彙力、リーディング、ライティング、口頭表現力を総合的に伸ばすことを目的としていました。映像や舞台鑑賞を通じて作品の筋や歌詞、歴史的背景を学び、批評文やレビューを執筆するとともに、発表を通じてプレゼンテーション能力も養いました。現地でのフィールドワークも含まれており、実際の舞台芸術に触れる機会があった点が特徴です
試験・課題等	1週間に一本映画を観て、それに関するレポートを書く課題がありました。期末にはプレゼンとテストもありました。
感想を自由記入	ただ映画やミュージカルを楽しむというよりは、作品の歴史や脚本について深く学ぶという内容でした。ミュージカルが好きで、みんなでブロードウェイを見に行ったことはとても良い思い出です。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Intensive English Practice: Pronunciation	
科目設置学部・研究科	College Writing Programs
履修期間	SessionF
単位数	2
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に150分が4回
担当教授	Paula Runnals
授業内容	英語学習者向けの発音集中講座であり、アメリカ英語の音声体系、単語・文の強勢、リンキング、リズムを学習しました。教科書課題やスピーチの分析、プレゼンテーションに加え、個々の音の発音練習を徹底的に行うことで、自然な発話力を高めることを目指します。
試験・課題等	小テストと期末にスピーチ発表あり
感想を自由記入	おそらく受講生全員が留学生であったため気負わずリラックスして受けることができました。とにかく英語を話し続ける授業なので、会話の練習をしたい人はぜひ受講するとよいと思います。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	
	10月～12月	
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	
	8月～9月	留学を決める
	10月～12月	学内選考出願
留学/帰国年	1月～3月	履修登録・ビザ取得
	4月～7月	渡航
	8月～9月	帰国
	10月～12月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留學生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私はこの留学を経験するまで海外経験はほとんど全くといっていいほどありませんでした。ですが初めての留学先にこのカリフォルニア大学バークレー校を選んで本当によかったと思っています。常に周りには志を持ったレベルの高い人がいて、彼らに感化され続けた留學生活でした。世界トップレベルの大学と聞くと、自分も能力がないと行けない気がするかもしれないし、何より語学力に不安を感じると思います。確かにこの留學中に会った人は、自分とは比べ物にならない程の能力や経験を持った人ばかりでした。だけどそんな中でも自分なりに筋道立てて努力をしていれば、ちゃんと周りは見えていてくれるしきちんと評価してくれています。コミュニケーションに関しても、きれいな発音じゃなくたって相手に伝えようという気持ちさえあれば十分に会話は楽しめます。とにかく、留學したいという気持ちがあるなら細かいことは気にせず一度飛び込んでみてほしいです。思っているより世界って優しいです。すごく適当な言い方に聞こえるかもしれませんが、これは私が留學していて一番感じたことです。